

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス わかばの杜		公表日		2026年3月10日	
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	1日の利用定員(10名)に対して、十分な活動スペースを確保できている。		
環境・体制整備	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児童に対してスタッフを配置し、学習や自由時間にも目がいきとどき個別対応ができるようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	スポンジカーペットの床で色分けして児童が部屋の認識ができるようにしている。また、事業所の設備としてトイレに手すりを設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	児童が来所する前に、各部屋に掃除機をかけて掃除し、アルコール消毒を行いながら環境整備をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	クールダウンや体調不良等の対応を行う時に個別の部屋が使用できることを伝え、対応している。		
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	定期的にミーティングを実施し、話し合いで意見を出し合い業務改善に務めている。		
業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	年に1回の事業所評価や面談、送迎時の情報共有し、保護者の意向を把握するようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	定期的にミーティングを実施し、話し合いで意見を出し合い業務改善に務めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	第三者による外部評価は行っていない。事業所内で職員の意見を集約し、業務改善に活かしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	理学療法士の月1回の事業所内研修やジョブメドレーの毎月の受講研修を受講しスキルアップにつなげている。		
7	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	職員間で意見を出し合い、支援プログラムを作成している。ホームページで公表させている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	見学や面談時に保護者様から聞き取り、児童との関わりの中からアセスメントを行い、個別支援計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	定期的にミーティングを行い、児童の様子や課題のついて共有し、その内容を個別支援計画書の反映させている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個別支援計画書とアセスメントシートを共有し、児童の成長に合わせた学習課題を提供、日々の療育につなげている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	標準化されたアセスメントシートは使用していない。行動観察し、ミーティングで話し合い、共有することで全職員が確認できるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに明示された項目を設定し、児童の強みを活かして段階的に課題に取り組みるように支援を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	全職員で意見を出し合い、プログラミングを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	全職員や児童の意見を取り入れて活動を工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	5領域の内容と合わせて、個別・集団活動で他者と関わり合い、取り組む時間を設け支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	児童が来所する前に、その日出勤の職員と時間を設け、活動の流れ、役割分担、児童の情報の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	帰りの送迎後に、その日行われた支援の振り返りを行っている。連絡ノートを通して、全職員が確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	児童の記録をとる時や連絡帳を書く時に行っている。支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	個別支援計画書だけでなく、アセスメントシートの内容を定期的に見直し、職員間で取り組める仕組みを整えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	放課後や学休日の活動の中で4つの基本活動を組み合わせ各児童が達成感を味わえるよう工夫して支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	活動内容を説明し、各児童が活動に参加できるようにレベルを3段階に分けて支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	管理者または児童発達支援管理責任者が参画し、事業所での様子や活動内容を伝えている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	自立支援協議会や社会福祉協議会の連絡会に参加し、地域の現状の情報収集を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	下校時間等の情報共有だけでなく、保護者様の承諾を得て、児童の情報共有にも力を入れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	間に相談員を入れて、情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	保護者様又は相談員の方から依頼があれば担当者会議を行い、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	スーパーバイズや助言、研修は受けていないが、自立支援協議会の時に児童発達センターとの連携は図れる。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	地域の子どもたちを事業所に招き交流会を行ったり、地域の公園や児童館に行き、遊び機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	管理者が参加し、必要な情報を他の職員へ共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	面談時や送迎時、サービス提供記録の中で状況や課題について伝え合い、その内容をすべて職員に共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	プログラムとしては設けていないが、年1回の交流会を通して情報提供等を行っている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に通所するのに必要な情報や利用負担額などについて説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	個別支援計画は、面談時に聞き取りした情報とアセスメントを合わせて原案を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	面談時や送迎時に個別支援計画書をお渡しして説明し、加筆修正の有無を伺いサインをもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者様から相談が来た場合は、丁寧にお話を聞き、相談に応じるように努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2	保護者会という形では活動していないが保護者同士が交流する機会を設ける為に保護者参観日を行い、活動に参加し交流していただいている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	苦情があった場合は、直ぐに保護者様に連絡を取り、同様の状況を繰り返さないよう対策している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月のおたよりやInstagram、HUGシステムを用いてその都度、活動内容を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	児童の情報に関して各個人ファイルで保管し、鍵付きの棚で保管している。また、事前に保護者様から同意を得るようにし、撮影している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	HUGシステムを使って、視覚的に情報伝達を行うようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	地域住民の方と畑のいも掘りで交流しており、事業所のイベントに招待している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	ミーティング等でマニュアルを確認する時間を設ける。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に2回避難訓練を実施している。救命救急講習も受講している。	BCPを職員間で確認し、安全な活動への意識を高められるように努めたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	契約時、児童の状況を確認したり、児童の情報を保護者様から書いてもらったアセスメントシートを確認する。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	契約時、食物アレルギーの有無を確認し、キッチンにアレルギーの児童と食べ物の名前を貼る。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	HUGシステムを通じて、実施した内容について周知している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	事業所内には避難誘導場所や避難経路は提示しているが、各家族全員が周知しているのかわからない。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット用紙に記載し、職員全員で共有し再発防止に努めている。ミーティングで振り返りを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止研修を年2回実施し、職員同士が日々の行動や言語を点検するように努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束に関する研修を実施し、今年度も全児童に対して身体拘束は1件も行っていない。		